

託送事業の進化・変革に向けた取組方針  
「Future Initiatives」の策定について

2025年1月29日  
関西電力送配電株式会社

当社は、託送事業の進化・変革に向けた取組方針「Future Initiatives」（以下、本方針）を、本日、策定しました。

当社は、2050年頃に目指す将来像として「関西電力送配電グループビジョン<sup>※1</sup>」を掲げ、未来の電力システムにおいても中心的な役割を担うべく、託送事業の進化・変革に向けた検討を進めています。

未来社会では、持続可能な社会の実現や、気候変動による自然災害の増加・激甚化への対応といった社会課題、社会の皆さまのニーズの多様化が想定されます。当社は、これらのご期待に対して、一般送配電事業者として提供し得る価値の最大化を志向し、積極的かつ能動的にお応えしてまいります。

具体的には、「電気をお届けする」という託送事業の提供価値を、カーボンニュートラルの実現（環境性）、レジリエンスの強化（安定供給）、社会コストの低減（経済性）という3つの視点（3E）でさらに進化させ、同じ志を持つパートナーさまとも連携しつつ、「新たな価値をお届けする」ものです。

本方針では、以下3つのポイントを定めており、これらを推進するための実証事業<sup>※2</sup>をすでに開始しています。

- ① 進化させた3E価値の最大化
- ② エネルギープラットフォームを活用した3E以外の価値提供
- ③ ユニバーサルサービスに加え、カスタマイズサービスも提供

当社グループは、安定的で環境に優しいエネルギーを、だれもが安心してつかうことができる社会や、個人や企業が自由に、オープンに協力し合い、豊かで安心して過ごせる日々をつくっていく社会の実現を目指して、社会の皆さまとエネルギーの未来を共創していくことを、お約束します。

※1 [関西電力送配電グループビジョン公表サイト（2023年8月1日策定）](#)

※2 [関西エリアの系統におけるCO<sub>2</sub>排出状況を見える化する実証の開始について（2025年1月29日発表）](#)

以上

別紙：Future Initiatives（概要版）

参考：[Future Initiatives（全体版）](#)

# Future Initiatives (概要版)

2025年1月29日

関西電力送配電株式会社

- 当社が担う託送事業には、「電気を送り届ける」ことにとどまらない新たな価値を生み出せる可能性があり、社会の皆さまにこれまで以上の価値をお届けできるのではないかと考えています。
- 取組みの推進には、志をともにするパートナーさまや、当社の取組みに共感をしてくださる社会の皆さまとの「共創」（共に未来社会を創り上げること）が大切であり、「Future Initiatives」はそのつながりの起点になると信じています。

エネルギーでつながりを生み、  
未来をつくりだせ。

電気を送り届ける。

を、超えていこう。

私たちは電気を届けてきた設備をすでに持っている。

そして、これまで事業をとおして貯めてきた、電気に関するデータがある。

エネルギーがいない人も場所もないこの世界で、

そのデータはすべての事業や生活に貢献できるはずだ。

同じ目標を持つ人や組織とつながり、パートナーとなろう。

そのためには取引の形も、一方通行ではなく、双方向のつながりあえる形に変えていこう。

敵対するのではなく、必要ならリソースを共有し、共創しあう場所をつくろう。

ときには先頭に立ち、進むべき道を照らしていこう。

もちろん、環境によくて、しかもコストの低いエネルギーを安定的に届けていこう。

そうして、いつまでも。

だれもが不安なく、安心して、前向きに過ごせる日々を過ごす。

そんな新しい未来を、つくろう。

そのために私たちは、エネルギープラットフォームへと進化します。

人とモノとサービスをつなぎ、人々が豊かに生きるエネルギーを生み出し続けるために。

- 当社は、これからの社会変化を踏まえ、「カーボンニュートラルの実現」、「レジリエンスの強化」、「多様なステークホルダーの皆さまとの共創」が、より良い未来社会を実現するうえで重要なキーワードであると考えています。

## 託送進化・変革により創りたい未来社会像

### Society in 2050



どんな災害が起きても、みんなで支え合っていく。

安心が段違いな社会へ。

Resilience

Co-creation

Carbon Neutrality

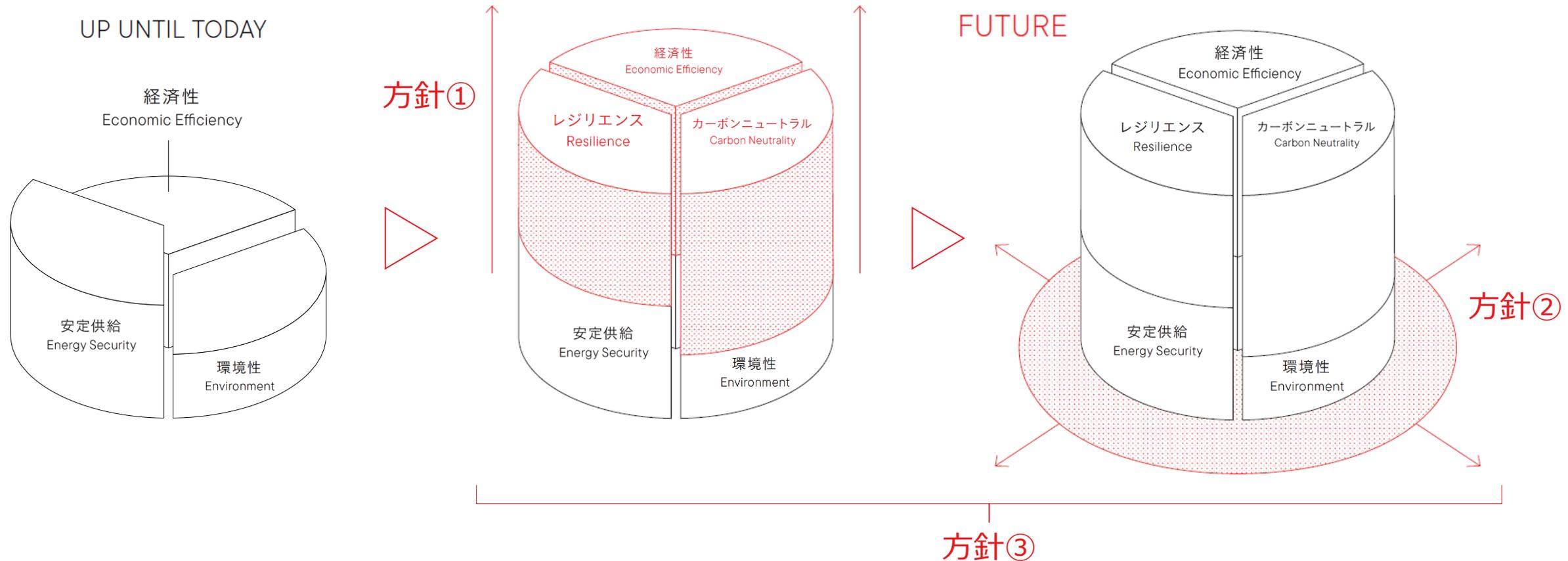
未来のために、人や知恵、技術が集まる。

だれもが共創しあう社会へ。

未来のエネルギーを、誰もが、気軽に。

「環境にいい」が、もっと広がる社会へ。

- まず、情報の可視化などによるカーボンニュートラルに向けた取組みや、災害の未然防止・事後支援・復旧をさらに高次元で実現するためのレジリエンス向上を中心に「**方針①進化させた3 E 価値の最大化**」に取り組めます。
- さらに、これらの取組みを通して構築するエネルギープラットフォームを拡充させ、多様化する社会からの期待にも応えられるよう「**方針②エネルギープラットフォームを活用した3 E 以外の価値提供**」に取り組めます。
- なお、これらの取組みを推進するうえでは、「**方針③ユニバーサルサービスに加え、カスタマイズサービスも提供**」し、提供価値を進化・拡大させていきます。



- 目指すべき未来社会像を実現するために、当社の設備やデータを活かした新たな価値提供を推進していきたいと考えており、まずはこれまでの事業の延長にある5つの事業カテゴリーに取り組み、自らの事業の変革を加速していきます。

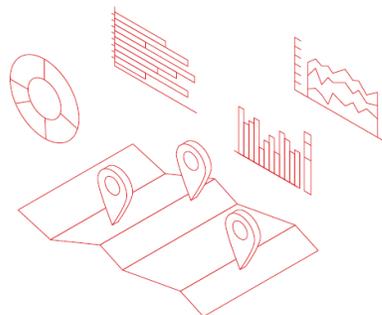
- 1 | 地域データ活用による  
事業者へのサービス提供
- 2 | 消費データ活用による  
一般消費者へのサービス提供
- 3 | 自治体連携による  
次世代生活インフラ運用
- 4 | 企業連携による  
次世代ソリューション開発
- 5 | 分散型エネルギー源を有効活用できる  
次世代ネットワーク運用

- これらの事業カテゴリーを踏まえ、いくつかの実証事業を検討しています。以下は、当社のアセットを活用した例ですが、多様なステークホルダーの皆さまとの共創により、新たな価値の提供スキームの実現にも挑戦していきます。

実証事業

1

エリアの CO2 排出状況  
予測見える化

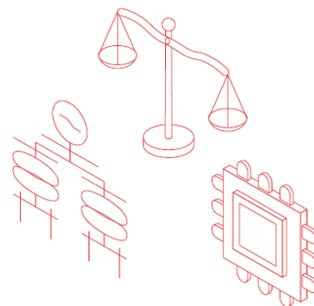


発電によるCO2の排出量を共有し、CO2削減や環境意識向上に貢献。  
事業カテゴリー1「地域データ活用による事業者へのサービス提供」  
事業カテゴリー2「消費データ活用による一般消費者へのサービス提供」  
の実証事業。

実証事業

2

分散型エネルギー源 (DER)  
活用による系統混雑緩和

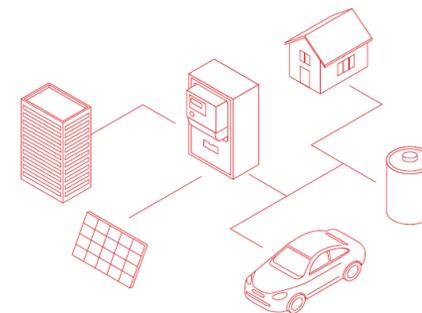


太陽光発電や蓄電池などの分散型エネルギー源を利用し、  
電力ネットワークの利用率を高め、再エネ活用を促進。  
事業カテゴリー5「分散型エネルギー源の有効活用できる  
次世代ネットワーク運用」の実証事業。

実証事業

3

分散型エネルギー源 (DER)  
コネクタ機能



太陽光発電や蓄電池など分散型エネルギー源を効率的に  
電力ネットワークに接続。余剰エネルギーを有効活用。  
事業カテゴリー5「分散型エネルギー源の有効活用できる  
次世代ネットワーク運用」の実証事業。